

エリトリア観光

エリトリアは紀元前1世紀～紀元8世紀まで象牙などの交易で栄えたアクスム王国の繁栄後、幾世紀にもわたりエジプト、オスマントルコ、イタリア、エチオピアによる支配等を近年まで受け、このためアクスム王国の遺跡、アスマラ大聖堂を初めとして多彩な文化的遺産を継承しており、特異な文化を形成しています。

イタリアの影響の強い首都アスマラは治安状況も比較的良く、落ち着いた美しい景観を形成しています。他方、紅海沿岸にはマリンスポーツを楽しむリゾート地も存在するようですが、エリトリア政府は2006年以降、アスマラから地方への外国人の移動を制限しており、更に、国境の画定・確定問題を巡って対立する隣国エチオピアとの国境沿いには数十万人規模の両国軍が対峙する等常に緊張状態にあり、また、隣国ジブチとの関係も複雑ですので、この地域への渡航は自粛して下さい。